



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東
コード番号 4323 URL <http://www.jast.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平林 武昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 大門 紀章 TEL 06-4560-1000
四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

百万円未満切捨て

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,692	3.8	17	△29.2	30	△27.3	1	—
24年3月期第2四半期	4,522	13.8	25	—	42	—	△5	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △7百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.40	0.39
24年3月期第2四半期	△1.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	7,469	4,281	56.8	891.71
24年3月期	7,363	4,386	59.2	917.91

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,240百万円 24年3月期 4,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	15.2	388	36.5	411	25.5	200	47.2	42.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名)ー、除外 ー社 (社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	5,120,030株	24年3月期	5,111,730株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	364,140株	24年3月期	364,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	4,752,339株	24年3月期2Q	4,739,441株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の数値はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましてはP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における、当社及び連結子会社からなる企業集団（以下「当社グループ」といいます。）の業績は、売上高46億92百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益17百万円（同29.2%減）、経常利益30百万円（同27.3%減）、四半期純利益1百万円（前年同期は四半期純損失5百万円）と、前年同期と比較して、営業利益及び経常利益は減少いたしました。売上高及び四半期純利益は増加しており、概ね堅調な業績状況となりました。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業（受注ソフトウェアの個別受託開発）につきましては、教育機関及び官公庁向け案件は減少いたしました。金融業、製造業向け案件は増加し、売上高29億65百万円（前年同期比7.8%増）、営業損失44百万円（前年同期は営業損失29百万円）の増収減益となりました。

次に、パッケージ事業（学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス）につきましては、EUC（End User Computing：パッケージの周辺システムの受託開発）及び導入支援は減少いたしました。大学向けPP（プログラム・プロダクト）販売、保守及び仕入販売は堅調に推移し、売上高8億28百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益1億26百万円（同3.4%減）の増収減益となりました。

最後に、システム販売事業（IT機器の販売及び情報通信インフラの構築）につきましては、公共系SI（システム・インテグレーション）案件並びに大学向け機器販売が増加いたしました。サービス・流通業向け案件は減少し、売上高8億63百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益32百万円（同20.2%減）の減収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は60億23百万円（前連結会計年度末比34百万円減）となりました。これは主として期中の仕掛品の増加並びに売掛金の減少等の増減の結果であります。また、固定資産の残高は14億46百万円（同1億41百万円増）となりました。これは主としてオフィスの増床と移転に伴う保証金の差入及びのれんの発生による増加であります。

次に、流動負債の残高は19億7百万円（同1億73百万円増）となりました。これは主として受託開発案件の前受金の増加並びに法人税等の支払による減少の増減の結果であります。また、固定負債の残高は12億80百万円（同38百万円増）となりました。

最後に、純資産の合計残高は42億81百万円（同1億4百万円減）となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の状況は、期首の資金残高20億15百万円より13百万円増加し、20億28百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、2億92百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は3億73百万円の収入）となりました。この差額は主としてたな卸資産及び前受金の増加並びに売上債権の回収及び仕入債務の減少による差引きの結果であります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、1億27百万円の支出（同1億96百万円の支出）となりました。この差額は主として差入保証金の増加並びに定期預金への預入額の減少による差引きの結果であります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億51百万円の支出（同6億50百万円の支出）となりました。この差額は主として借入金の返済額の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要が本格化する一方で、欧州政府債務危機問題の長期化、為替の円高継続及び中国やインドをはじめとする新興国における経済成長の減速など、依然として先行き不透明な状況にあります。

国内IT産業につきましては、直近の統計（経済産業省、特定サービス産業動態統計8月確報）において、売上高前年同月比のプラス傾向を維持しており、業界全体としては回復基調で推移しておりますが、上で述べたように景気の先行き不透明な状況を背景に、回復力はまだまだ脆弱であると認識しております。

このように足元はまだまだ厳しい状況ではありますが、当社グループにおきましては年度当初に掲げた重点施策を着実に実行し、業績計画の達成を図りたく考えております。なお、事業別には以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業においては、昨年度に再編成を行った金融、流通サービス等主力産業別の特化組織を中心に、引き続き収益基盤の強化並びに提案型営業の推進に取り組み、業績の継続拡大を実現する所存です。また新ビジネスの研究開発投資をより強力に推進し、新たな収益の柱を築くことに注力するため、新規事業拡大のための組織を新設しております。

次に、パッケージ事業においては、関東圏及び関西圏にそれぞれ独立して設置した事業部を中心に、各地域に密着して強力にシェア拡大を図るとともに、情報端末やホスティングサービスなど最新の文教ITサービスを提供してまいります。加えて、主力プロダクトの次世代製品の開発並びに更なる新ビジネスの具体化にも本格的に着手すべく、新組織を立ち上げ、学校業務改革パッケージ「GAKUEN」を、文教市場において圧倒的ブランドとして広く認められるよう取り組んでまいります。

最後に、システム販売事業につきましては、強含みの受注トレンドを確実に収益に結び付けるとともに、SEサービス等高収益分野のシェア向上にも取り組み、業績の継続拡大を図ります。

これらを踏まえ平成25年3月期の連結業績予想は平成24年5月9日付の当初発表どおり、売上高104億円（前連結会計年度比15.2%増）、営業利益3億88百万円（同36.5%増）、経常利益4億11百万円（同25.5%増）、当期純利益2億円（同47.2%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、平成24年7月2日（みなし取得日は平成24年7月1日）に株式会社新日本ニーズ及びSafeNeeds株式会社の株式を取得いたしました。また、SafeNeeds株式会社の役員が桂林安信軟件有限公司の持分を全額保有していること及び董事会構成員数の過半数を占めていることから、実質支配力基準に基づき桂林安信軟件有限公司につきましても連結の範囲に含めております。なお、桂林安信軟件有限公司の決算日は当社の決算日と異なるため、桂林安信軟件有限公司の第2四半期決算日である平成24年6月30日現在の貸借対照表のみ連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3, 537, 485	3, 556, 492
受取手形及び売掛金	1, 766, 455	1, 576, 079
商品及び製品	142, 784	120, 226
仕掛品	310, 505	470, 486
原材料及び貯蔵品	1, 885	1, 983
繰延税金資産	208, 676	202, 135
その他	92, 848	98, 891
貸倒引当金	△2, 553	△2, 819
流動資産合計	6, 058, 088	6, 023, 476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	380, 360	407, 455
減価償却累計額	△269, 431	△280, 910
建物及び構築物（純額）	110, 929	126, 544
土地	142, 361	142, 361
その他	167, 958	202, 007
減価償却累計額	△143, 517	△158, 812
その他（純額）	24, 441	43, 195
有形固定資産合計	277, 732	312, 101
無形固定資産		
のれん	—	39, 495
ソフトウェア	21, 403	17, 313
その他	6, 818	7, 189
無形固定資産合計	28, 222	63, 998
投資その他の資産		
投資有価証券	206, 986	201, 968
長期貸付金	2, 694	2, 694
繰延税金資産	247, 156	253, 112
差入保証金	248, 365	316, 022
前払年金費用	124, 973	120, 396
その他	219, 857	226, 837
貸倒引当金	△50, 861	△50, 811
投資その他の資産合計	999, 173	1, 070, 220
固定資産合計	1, 305, 128	1, 446, 321
資産合計	7, 363, 216	7, 469, 797

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	623, 203	614, 208
短期借入金	15, 378	12, 941
1年内返済予定の長期借入金	—	8, 000
未払法人税等	178, 162	28, 426
賞与引当金	393, 384	407, 578
役員賞与引当金	19, 176	13, 618
資産除去債務	31, 449	30, 043
その他	474, 217	793, 173
流動負債合計	1, 734, 971	1, 907, 990
固定負債		
退職給付引当金	848, 983	864, 606
役員退職慰労引当金	371, 941	384, 457
繰延税金負債	—	2, 558
その他	21, 162	28, 747
固定負債合計	1, 242, 087	1, 280, 370
負債合計	2, 977, 058	3, 188, 360
純資産の部		
株主資本		
資本金	919, 665	921, 799
資本剰余金	881, 304	883, 438
利益剰余金	2, 815, 796	2, 699, 014
自己株式	△266, 494	△266, 494
株主資本合計	4, 350, 271	4, 237, 758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19, 051	14, 436
為替換算調整勘定	△11, 471	△11, 327
その他の包括利益累計額合計	7, 579	3, 108
新株予約権	1, 001	993
少数株主持分	27, 305	39, 577
純資産合計	4, 386, 158	4, 281, 436
負債純資産合計	7, 363, 216	7, 469, 797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	4,522,357	4,692,763
売上原価	3,601,471	3,819,195
売上総利益	920,885	873,567
販売費及び一般管理費	895,716	855,757
営業利益	25,169	17,810
営業外収益		
受取利息	4,335	4,650
受取配当金	2,341	2,510
受取賃貸料	8,563	7,456
保険解約返戻金	12,048	—
その他	5,913	4,547
営業外収益合計	33,202	19,165
営業外費用		
支払利息	2,523	888
賃貸費用	4,149	4,189
新株予約権発行費	5,170	—
固定資産除却損	3,585	19
その他	419	981
営業外費用合計	15,847	6,079
経常利益	42,524	30,895
特別損失		
投資有価証券評価損	2,225	—
特別損失合計	2,225	—
税金等調整前四半期純利益	40,298	30,895
法人税等	46,879	28,297
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,580	2,598
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,407	691
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,172	1,907

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△6,580	2,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,610	△4,615
為替換算調整勘定	△2,154	705
その他の包括利益合計	△544	△3,909
四半期包括利益	△7,124	△1,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,763	△2,563
少数株主に係る四半期包括利益	△2,360	1,252

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	40,298	30,895
減価償却費	17,025	22,100
ソフトウェア償却費	4,756	4,544
のれん償却額	32,866	2,078
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,895	8,045
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,783	15,500
前払年金費用の増減額 (△は増加)	9,010	4,576
受取利息及び受取配当金	△6,677	△7,160
支払利息	2,523	888
新株予約権発行費	5,170	—
売上債権の増減額 (△は増加)	331,266	263,383
前受金の増減額 (△は減少)	214,482	274,980
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△53,794	△135,509
仕入債務の増減額 (△は減少)	39,211	△47,198
その他	△45,022	18,302
小計	549,003	455,429
利息及び配当金の受取額	4,766	7,400
利息の支払額	△2,364	△888
法人税等の支払額	△178,189	△169,812
営業活動によるキャッシュ・フロー	373,216	292,127
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△195,147	△4,980
有形固定資産の取得による支出	△10,135	△39,403
ソフトウェアの取得による支出	△1,637	△217
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△18,788
保険積立金の取崩による収入	29,441	—
差入保証金の差入による支出	△17,221	△66,043
その他	△1,595	1,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,296	△127,872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△438,546	△2,983
長期借入金の返済による支出	△90,000	△33,087
新株予約権の発行による支出	△4,160	—
株式の発行による収入	494	4,260
自己株式の取得による支出	△33	—
配当金の支払額	△118,478	△118,689
少数株主への配当金の支払額	—	△478
その他	—	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△650,724	△151,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△473,851	13,203
現金及び現金同等物の期首残高	2,420,306	2,015,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,946,455	2,028,907

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
1. 外部顧客への売上高	2,751,957	814,373	955,580	4,521,911	446	4,522,357
2. セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	91,752	91,752	△91,752	—
計	2,751,957	814,373	1,047,333	4,613,664	△91,306	4,522,357
セグメント利益又は損失 (△)	△29,616	131,226	40,307	141,916	△116,747	25,169

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△116,747千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
1. 外部顧客への売上高	2,965,553	828,815	863,022	4,657,390	35,372	4,692,763
2. セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,866	—	23,795	25,661	△25,661	—
計	2,967,419	828,815	886,818	4,683,052	9,710	4,692,763
セグメント利益又は損失 (△)	△44,870	126,825	32,179	114,134	△96,324	17,810

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△96,324千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ソフトウェア事業において、当第2四半期連結会計期間に株式会社新日本ニーズ及びSafeNeeds株式会社の株式を取得し連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は41,574千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更に伴うセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。

5. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	2,501,908	106.8
パッケージ事業 (千円)	534,556	105.9
システム販売事業 (千円)	716,975	99.0
その他 (千円)	65,754	226.1
合計 (千円)	3,819,195	106.0

- (注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	3,264,542	150.8	1,414,146	134.8
パッケージ事業 (千円)	1,026,818	123.9	691,231	98.3
システム販売事業 (千円)	634,133	57.3	301,162	115.8
その他 (千円)	118,230	9,559.7	96,881	11,242.7
合計 (千円)	5,043,725	123.0	2,503,421	124.3

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	2,965,553	107.8
パッケージ事業 (千円)	828,815	101.8
システム販売事業 (千円)	863,022	90.3
その他 (千円)	35,372	7,926.5
合計 (千円)	4,692,763	103.8

- (注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本㈱	466,764	10.3	472,237	10.1
㈱ダスキン	487,563	10.8	318,209	6.8
ドコモ・システムズ㈱	245,631	5.4	270,638	5.8

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。